

事業名	感染症予防普及費	財務コード (事業)	090803
-----	----------	---------------	--------

細事業名	感染症予防普及事業費
------	------------

担当部課室	福祉保健 部 健康増進 課 感染症 担当 (内線)	3511
-------	---------------------------	------

事業の概要

実施期間	始期 H10 年度 ~ 終期 年度			
実施主体	県(直営)			
事業の目的	<table border="1"> <tr> <td>誰(何)を対象に 県機関、市町村、医療機関等に従事する職員(感染症担当職員)</td> <td>その対象をどのような状態にして 感染症の動向に関する最新情報の取得及び情報交換を行っている。</td> <td>結果、何に結びつけるのか 感染症の予防及びまん延防止、感染症の患者に対する医療体制の確立</td> </tr> </table>	誰(何)を対象に 県機関、市町村、医療機関等に従事する職員(感染症担当職員)	その対象をどのような状態にして 感染症の動向に関する最新情報の取得及び情報交換を行っている。	結果、何に結びつけるのか 感染症の予防及びまん延防止、感染症の患者に対する医療体制の確立
誰(何)を対象に 県機関、市町村、医療機関等に従事する職員(感染症担当職員)	その対象をどのような状態にして 感染症の動向に関する最新情報の取得及び情報交換を行っている。	結果、何に結びつけるのか 感染症の予防及びまん延防止、感染症の患者に対する医療体制の確立		
事業の内容 主に 24年度	<p>1 事業概要 感染症予防対策の研修を実施し、感染症に対する知識の普及啓発に努める。</p> <p>2 内容 感染症に関する防疫講習会の開催(感染症の発生を想定した講習会の実施) 感染症対策研修会等への参加</p> <p>3 事業実績 防疫講習会(3回) ・ノロウイルス等感染症対応講習会(長寿社会課との合同開催:1回) ・保健所職員を対象とした感染症対応研修会(2回) 日本公衆衛生学会参加(3日 山口県)</p>			
根拠法令等	感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律、			

事業の目標、実施状況等(事業実績及び成果の達成状況)

事業の実施状況と 目標の実現度	23年度	24年度		25年度	26年度	事業目標の考え方
	実績値	目標値	実績値	見込値	目標値	
活動指標	講習会の開催	2	2	3	3	活動指標 目標設定の考え方 研修や実地研修(講習会)への参加 日数(研修会に参加し、習得した知識・技術を講習会に反映) データの出典等 事業実績報告
	研修会等への参加	1	1	1	1	
	活動指標達成率 (実績値/目標値)			%		
成果指標						成果指標 目標設定の考え方 データの出典等
	成果指標達成率 (実績値/目標値)			%		
決算額、予算額 (千円)	87		84	161	155	成果指標によらない成果 新型インフルエンザや新興感染症、再興感染症の発生等、予防対策や普及啓発等に関する技術、知見は、日々進化しており、新技術を取り入れての対応が常に求められていることから、講習会の開催や研修の開催は、県民の福祉増進に貢献している。 研修会参加者アンケート調査結果においても、定期的な開催が求められている。
うち一財額	87		84	161	155	
所要時間(直接分)	71 時間		71 時間	74 時間	69 時間	
所要時間(間接分)	3 時間		3 時間	0 時間	0 時間	
所要時間計	74 時間		74 時間	74 時間	69 時間	
人件費コスト 単位:千円 (@2,050円×所要時間)	152		152	152	141	

これまでの事業の見直し・改善状況

--

活動量と成果の判断(平成24年度の業績評価)

(1) 事業は予定された活動量を上げているか。(「活動指標の達成率」等から、事業の活動量を判断)

数値判定	活動量に係る一次評価	活動量に係る一次評価の考え方 数値判定と一次評価とが異なる場合等に記入すること
H24年度活動指標達成率		高齢者施設職員を対象としたノロウイルス等への対応方法の講習会のほか、保健所職員を対象とした感染症発生時対応研修会講習会を開催したため、予定を超えた活動量があった。
	b	

a: 予定を超えた活動量がある(120%以上)。 b: 予定どおりの活動量がある(80%以上120%未満)。 c: 予定したほど活動量がない(40%以上80%未満)。 d: 予定した活動量に著しく足りない(40%未満)。

(2) 事業は意図した成果を上げているか。(「成果指標の達成率」、「成果指標によらない成果」から事業の成果を判断)

数値判定	成果に係る一次評価	成果に係る一次評価の考え方 必ず記入すること
H24年度成果指標達成率		感染症に対する最新の知見や対策を学ぶ貴重な機会であり、講習会参加者の満足度も高く、例年開催希望も多いことから必要性は高い。また、感染症発生時対応の研修会は定期的な開催により適切な対応を確認する必要がある、必要性の高い研修であり、これにより適切で迅速な初動対応が確保されており、意図した成果を上げている。
	b	

a: 意図した成果を十分に上げている(120%以上)。 b: 意図した成果はほぼ上げている(80%以上120%未満)。 c: 意図した成果は十分ではないが、対象や方法の改善により成果の向上が見込める(40%以上80%未満)。 d: 意図した成果が十分でなく、成果を上げる方法も見あたらない(40%未満)。

見直しの必要性(平成26年度に向けた改善等の考え方)

一次評価(担当部評価結果)

見直しの必要性	説明	以外の判断項目
有	<p>新型インフルエンザや新興感染症、再興感染症の発生等、予防対策や普及啓発等に関する技術、知見は日々進化しており、また、県民からの講師派遣依頼も感染症に関する内容は特に希望が多く、内容についても常に最新の知見を求められており、医師等を対象した講習会にも対応しているため職員の資質向上は不可欠である。</p> <p>このため、専門知識を有する外部講師による講習会の開催や、対応職員の専門性を更に向上させるための研修会への参加及び参加職員による伝達講習等を関係職員に対し開催する必要性が高い。</p> <p>一方、職員の負担軽減を図るためには研修の開催方法を再考し、関連性の高い研修は集約して開催する等、開催方法の工夫を図ることで、所要時間(8%程度)の縮減を目指す。</p>	k

・「以外の判断項目」の欄
 必要性(a.目的の達成 b.新たな課題への対応 c.対象の変化 d.ニーズの変化 e.法律・制度の改正) 官or民(f.民間等実施) 官の役割分担(g.市町村等へ移管) 効率性(h.外部委託 i.経費節減 j.類似事業と統合・連携 k.所要時間の縮減 l.プロセスの改善) m.その他

二次評価(担当部局再評価結果) 行政評価アドバイザー会議(外部評価)での指摘事項を踏まえた担当部局による再評価

見直しの必要性	説明	以外の判断項目
/	/	/

・「以外の判断項目」の欄は、上記と同様とする。

見直しの方向(平成26年度当初予算等での対応状況)

見直しの方向	具体的な実施計画等
実施方法の変更	保健所を対象とした研修回数を集約化し、書類作成等に係る事務作業を効率化することで研修会開催に係る事務手続きに要する時間の縮減を図る。

・見直しの方向は、「廃止」「一部廃止」「終期設定」「休止」「他事業と統合」「縮小」「拡大」「実施方法等の変更」「改善済み」の中から選択し、「見直しの必要性を踏まえ、具体的な実施計画等を分かりやすく記載すること。なお、見直しがない場合は、「現行どおり」と記載し、必要に応じてその理由を記載すること。